

令和6年度富山県公立学校Microsoft Windows学習者用等端末一式の導入業務(購入) 審査基準

評価(評価基準)
A(非常に優れている)
B(優れている)
C(普通)
D(劣っている・最低スペック)
E(評価に値しない・記載がない)

大項目	中項目	No.	小項目	評価基準	配点
ハードウェアの要件	CPU	1	搭載するCPUのメーカー、型番を記載すること。最低スペック基準を上回るCPUの場合は性能について、提案書で具体的に示すこと。	児童生徒が授業等で利活用するために十分なスペックを有しているか。今後、利活用の方法が広がった際に対応できる性能を有しているか。(最低スペック基準と同等：D)	100
	メモリ	2	メインメモリ容量について記載すること。	児童生徒が授業等で利活用するために十分なスペックを有しているか。今後、利活用の方法が広がった際に対応できる性能を有しているか。(仕様書最低要件(8GB)と同等：D、16GB以上：A)	25
	内蔵ストレージ	3	内蔵ストレージ容量を記載すること。	導入後、増高するパッチプログラムの適用や様々な利活用に支障がないストレージ容量を有している	75
		4	内蔵ストレージ種別(eMMC, UFS, SSD等)を記載すること。また、読み出し速度及び書き込み速度(MB/s)を記載すること。(ベンチマークテストの種類及び測定結果等。テストは複数種類の記載が望ましい)	児童生徒が端末を円滑に利活用するために必要なスペックを有しているか。	
	ディスプレイ	5	ディスプレイの画面サイズを記載すること。また、ディスプレイの視認性を高くするための技術的な工夫等について記載すること(解像度、ノングレアタイプを採用しているなど)。	ディスプレイが見やすいものか。(実機評価も実施。)	75
		6	ディスプレイの破損防止(傷付きにくさを含む)のための技術的な工夫や実施した試験内容及び結果等を記載すること。	ディスプレイが破損しにくいものとなっているか。	
	タッチペン	7	タッチペンで書いたときの精度向上のための技術的な工夫を記載すること(本体及び今回提案するタッチペン。パームリジェクション対応等を含む。)	タッチペンで書いたときの精度は、授業で様々な利活用を円滑に進めることができるものとなっているか。(実機評価も実施。)	75
		8	タッチペンを紛失・破損した際に、自治体又は保護者が調達する方法及びその際の価格を記載すること。	調達する方法及び価格が自治体や保護者にとって、利用しやすいものであるか。	
	インターフェイス	9	USB3.0(Type-A)又はUSB3.0(Type-C)を使えるインターフェイスの搭載数を記載すること。また、HDMI端子又はMicroHDMI端子を使えるインターフェイスの搭載数を記載すること。	他のICT機器との接続ができるよう拡張性を有しているか。	50
	バッテリー	10	バッテリーの最大駆動時間を記載すること。	児童生徒が追加充電することなく、1～6時間目の授業で利活用できる駆動時間を有しているか。バッテリーの劣化が進んでも利活用への支障が少ない最大駆動時間を有しているか。(最低スペック基準(8時間)と同等：D ※)	75
		11	バッテリーの劣化防止に関する技術的な工夫や実施した試験内容及び結果等、準拠する規格等を記載すること。	学校での利活用(教室外を含む)や家庭へ持ち帰っての利活用・保管(夏休み等を含む)を想定したバッテリー劣化防止対策がなされているか。(温度変化、児童生徒による充電等も考慮)	
		12	バッテリー交換の方法及びその価格、交換に必要な期間を記載すること。	バッテリー交換の方法(交換依頼手順等)及びその価格、必要な期間は、学校や市町村の負担が小さいものとなっているか。	
	キーボード	13	キーストロークの深さ及びキーの間隔を記載すること。また、ファンクションキーが独立しているなど、操作性を向上させるための工夫を記載すること。	入力しやすいものとなっているか。(実機評価も実施。)	50
		14	キーボードの破損・故障防止に関する技術的な工夫や実施した試験内容及び結果等、準拠する規格等を記載すること。	学校での利活用(教室外を含む)や家庭へ持ち帰っての利活用・保管(夏休み等を含む)を想定した破損・故障防止対策がなされているか。(実機評価も実施。)	
	形状・重さ	15	筐体の形状及び利活用のための工夫を記載すること。(デタッチャブルタイプ・コンパチブルのよさ。スイッチ、カメラの配置等。)	形状が利活用しやすいものとなっているか。(実機評価も実施。)	75
		16	端末の重さを記載すること。	教室外での授業や持ち帰りの際の可搬性を確保するため、重さの抑制に努めているか。(仕様書最低要件(1.5kg)と同等：D ※)	
	カメラ	17	カメラの鮮明度向上のための技術的な工夫を記載すること。(QRコード読み取り精度向上を含む。)	カメラの鮮明度や、教科書等のQRコード読み取り精度は、利活用しやすいものとなっているか。(実機評価も実施。)	75
	起動時間	18	起動(ログイン画面表示)に要する時間を記載すること。	実際に、すみやかに端末が起動するか。(実機評価も実施。)	50
	堅牢性	19	MIL-STD-810Hの各項目の準拠状況や端末本体の堅牢性・耐久性向上・故障防止のための工夫、端末製造事業者において実施した試験内容及び結果等について具体的に記載すること。	学校での利活用(教室外を含む)や家庭へ持ち帰っての利活用・保管(夏休み等を含む)に十分な堅牢性を有しているか。(実機を見ての評価も実施。)	75
保守	保証期間・修理方法	20	無償保証の期間を記載すること。また、無償保証期間中及び無償保証期間終了後の修理端末の回収、配付手順について具体的に記載すること。	無償保証の期間延長などの提案がされているか。修理の手順は学校や市町村の負担が小さいか。(各学校や各市町村教委での回収・配達やその費用等)	50
その他	納入期限	21	仕様書の納入期限までに確実に納入できるか、端末確保の状況を具体的に記載すること。納入期限を前倒しできる場合、納入期限を記載すること。また、本業務の体制図及び業務を遂行するためのスケジュールを記載すること。	期限までに契約を確実に履行できるか。納入期限の前倒しを検討しているか。	75
		22	その他追加提案があれば、具体的に有益な提案を記載すること。	学校や市町村に、有益な提案がされているか。	

※の基準については、該当項番のみでの基準であり、中項目の評価は他の項番と合わせて評価する。